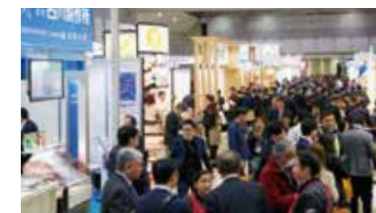




「高齢者に食べる喜びと栄養を一」 メディケアフーズ展にタンポポが出展します

2024年2月20日(火)~22日(木)
東京ビッグサイト東ホール 10:00~17:00



2023年メディケアフーズ展の様子

タンポポは介護事業を運営するリフシアが2014年1月から始めたセントラルキッチンです。昨年5月には新工場に移転し、「在宅での食環境改善」に向けた取り組みを強化しています。



2月20日から3日間、高齢者の食に係る企業200社が出展する国内最大規模のメディケアフーズ展が東京ビッグサイトで開催されます。新年早々タンポポのスタッフは、食の提供と並行して出展の準備をしています。医療機関や介護事業所の運営者・専門職等13000人の来場が予想されているので、タンポポが開発・製造する「えん下食」を多くの方に知っていただきたいと考えています。今年もスタッフ一同頑張ります！

リフシアのデイサービスとショートステイで タンポポのお弁当がテイクアウトできるようになりました



セントラルキッチンタンポポ
☎0467-38-7315

昨年12月から、栄養のバランスが良い食事
で介護予防、リハビリの効果を上げてもらおうと
タンポポのお弁当がサービス事業所でテイクアウト
できるようになりました。
管理栄養士がプロデュースした食事が「買い物や
調理の手間をかけずに食べることができる」「妻の
分も買って帰ろう」という声をいただいています。

※お弁当はオンラインショップでも購入できます。
詳しくはQRコードからアクセスしてください。

新年のご挨拶



取締役副社長 小嶋 達之

皆様におかれましては、健やかに
新しい年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

さて、改めて昨年を振り返ります
と、欧米各国のインフレ抑制策か
らの金利上昇、資源価格急騰、急
激な円安や、国内でも食料品や生
活必需品の相次ぐ値上げなど、私
たちの暮らしにも大きな影響を
もたらしました。

一方、約3年にわたり猛威を振る
った新型コロナも落ち着きを見
せ、社会活動もほぼ正常化し、街
の中も賑わいを取り戻しました。
このような状況から、日銀も政策
金利の見直しを検討するなど、今
年は、何か社会全体が動き出すの
かなと感じさせられる年になり
そうです。

2024年、私たち介護事業者にと
つても大きな変化が訪れます。
それは、「令和6年度介護報酬改
定」で、今回は6年に一度の診療
報酬同時改定の年になります。

来年の2025年には、いわゆる
団塊の世代が全て75歳以上になり、
今後は85歳以上人口割合の増加と
ともに2040年には、高齢者人
口はピークを迎えます。
そして、生産年齢人口の減少が顕
著となり、介護分野での人材不足
が懸念されています。
このような社会環境の下で、今後
の介護事業の方向性を示す重要
な改定となります。

その中で私たちがサービス提供
上、特に重視する基本的視点は3
点、

- ①「地域包括システムの深化(在宅限界を高める)」
 - ②「自立支援・重度化防止(有する能力に応じた自立した生活)」
 - ③「働きやすい職場(処遇改善・職場環境整備等)」です。
- これまでもリフシアでは、介護サービスの基本的視点である、これら3点にこだわったサービス提供と質向上を図ってきました。

本年は、この介護報酬改定を受け、更にその意を強く持ち、温かみのある、専門性と根拠に基づいた、柔軟で質の高いサービスにこだわります。そのこだわりの追求こそが、皆様の暮らしに新しい価値を提供するものと信じています。

本年も職員一同、力を尽くす所存です。今までと変わらずご指導ご鞭撻をいただけますようよろしくお願い致します。

2024年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」のことです。この甲辰は、「新しいことを始めて成功する、今まで準備してきたことが形になる」といった縁起の良さを表しているそうです。

皆様にとって、
良い年に
なります
ことをお祈り
申し上げます。



らいふ通信「ふちらいふ」 冬号 Vol.72

2024年1月15日(季刊発行)
編集/ふちらいふ編集室
〒253-0071
神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL:0467-55-5102
FAX:0467-55-5103
発行/株式会社リフシア

編集 新年の挨拶にかえまして、1月1日に発生した石川県能登半島地震により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。
後記 社会インフラの停止や人材不足により介護を必要とする方々に対する二次被害が心配な状況にあります。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。
4月より全ての介護サービス事業者はBCPの策定と研修・訓練が義務付けられています。私たちは、これからも地域の皆さまと支えあえる顔の見える関係作りを目指してまいります。

地域密着型サービス



リフシア柳島の中庭にクリスマスイルミネーション

認知症や要介護になっても住み慣れた地域で暮らせるよう

2006年に「地域密着型サービス」が創設されました。

一般の介護サービスを利用している人はサービスを受けるためにケアマネジャーを変更しなければならない場合があり、利用を躊躇する方もいらっしゃいますが、在宅生活を希望する方には利用しやすいサービスです。

皆さまに知っていただこうと新年号で特集を組みました。

地域密着型サービスとは

高齢化が進む中、地域によって高齢者人口や介護施設等の必要数もばらつきがあります。その為一般的な介護保険サービスは都道府県が指定管理しますが、「地域密着型サービス」は地域の実情に即した柔軟なサービスを提供するため、市町村の公募で指定されます。また、事業所と同一地域に住民票のある方が利用できる仕組みになっているので、別の市町村に住民票がある方は利用できません。利用する当事者、家族、地域住民や地域包括支援センターのスタッフなどが地域のニーズを拾い上げる場として、「運営推進会議」の定期的な開催が義務付けられており、顔馴染みの関係を作っているのも大きな特徴です。

24時間365日切れ目なく

現在10種類の「地域密着型サービス」があり、リフシアは茅ヶ崎・藤沢市内に小規模多機能、看護小規模多機能、グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを11拠点で運営しています。（詳細はホームページをご覧ください）

利用する方の体調やご家族の状況に合わせて24時間365日対応できるので、高齢者世帯や認知症、中重度の要介護の方も安心して利用できます。

費用は利用回数ではなく介護度によって決まる一か月単位の包括報酬ですが、「誰でも使い放題」ではありません。その方の状態に合わせてサービスを調整し、時にはご家族の協力や地域の社会資源も活用して在宅生活を支える仕組みとなっています。

求められているサービス

下図の円グラフはこの一年間にリフシアの地域密着型サービスを利用登録した人たちのニーズです（2022年10月～2023年9月）

●小規模多機能（7か所）

主なニーズは、退院時の在宅復帰支援23.5%、認知症対応18.8%、重度化でサービスを一本化する17.6%、独居や高齢者世帯で切れ目なく見守りが必要16.5%



クリスマスのマジックショー（リフシア香川）

「寒い冬は豚汁が一番」作るのも食べるのも楽しい（リフシア柳島）



リフシア香川の玄関に門松を飾りました



など、幅広い専門性や対応力を求める方が利用しています。

●看護小規模多機能（2か所）
訪問看護の機能があるため、利用経路の6割以上が医療機関で、主なニーズは入浴・食事・排泄などの生活全般19.1%、在宅復帰支援17%、医療ニーズの対応17%でした。

●定期巡回・随時対応型訪問介護看護
担当ケアマネジャーを変更せずに利用できることもあり、利用経路は居宅介護支援事業所から9割以上を占めています。登録ニーズは自立支援・重度化防止に向けた身体介護33.3%、在宅復帰支援27.3%、看取り21.2%、平均要介護度3に象徴されるとおり在宅生活を希望する中重度の方のニーズが高い状況にあります。

最期まで自分らしく

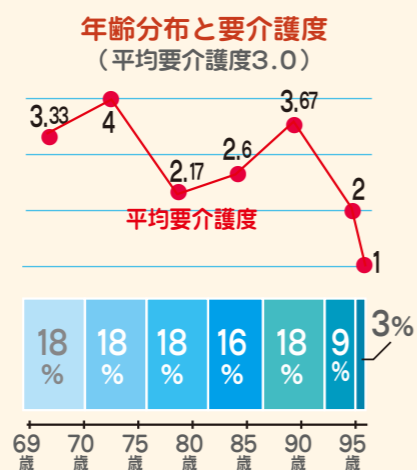
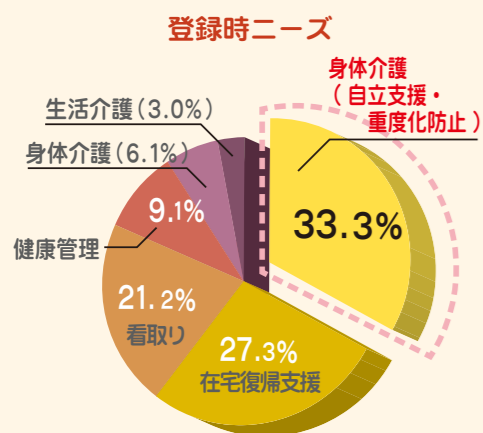
写真は茅ヶ崎市内にあるリフシアの小規模多機能です。



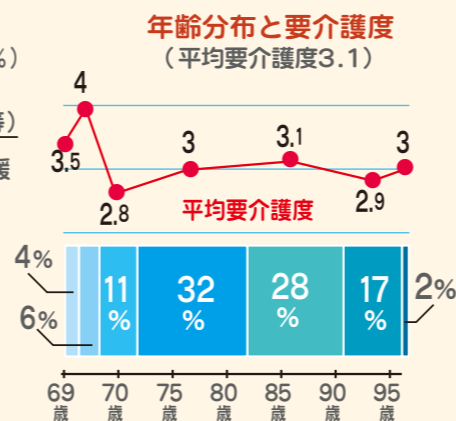
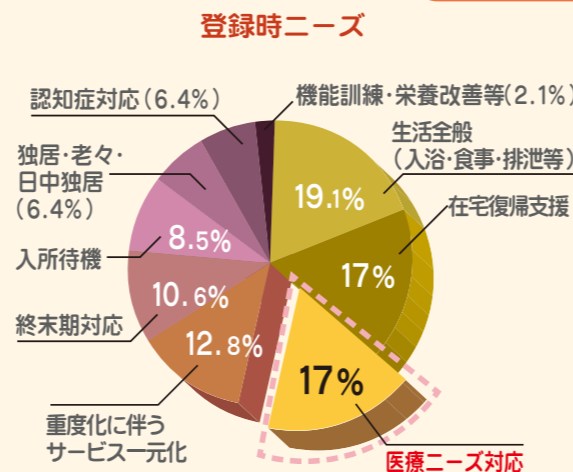
に会話や笑顔が生まれています。地域の中でその人らしく生活する居場所が小規模多機能にはあります。

サービスの利用については、担当のケアマネジャーや地域包括支援センター、入院の方はソーシャルワーカーや退院調整の窓口にご相談いただくか、リフシアのサービス事業所に直接お問い合わせください。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



看護小規模多機能



小規模多機能

